

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	令和4年度第1回姫路市環境審議会 一般廃棄物処理基本計画見直し等委員会
2 開催日時	令和4年5月31日（火曜日）10時50分～12時10分
3 開催場所	イーグレ姫路 セミナー室A
4 出席者又は欠席者名 （敬称略）	（出席者）西村正喜（委員長）、花嶋温子（副委員長）、石井宏治、岩田稔恵、小島理沙、 杉江他曾宏、中川公恵、長田秀人、長谷川尚吾 （欠席者）秋本剛宏、中野和子、藤田美知枝 （事務局）美化部長、環境事業推進室長、美化業務課課長、環境事業推進室主幹、 リサイクル課課長、美化業務課2名、環境事業推進室2名、リサイクル課1名、 委託業者2名
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人0名
6 議題又は案件及び結論等	1 説明 <ul style="list-style-type: none">・一般廃棄物処理基本計画見直し等委員会の進め方について（諮問第2号）・姫路市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて・姫路市のごみ処理・リサイクルの現状について（諮問第3号）・新美化センター整備基本構想の策定について・姫路市新美化センター建設候補地選定の考え方（案）について 2 意見交換 <ul style="list-style-type: none">・一般廃棄物処理基本計画見直し及び新美化センター整備基本構想に係るアンケートについて・新美化センター建設候補地の情報提供依頼について
7 会議の記録	詳細は別紙参照

1 審議事項

(1) 説明

・一般廃棄物処理基本計画見直し等委員会の進め方について
(諮問第2号)

・姫路市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて
・姫路市のごみ処理・リサイクルの現状について
(諮問第3号)

・新美化センター整備基本構想の策定について
・姫路市新美化センター建設候補地選定の考え方（案）について

(2) 意見交換

・一般廃棄物処理基本計画見直し及び新美化センター整備基本構想に係るアンケートについて
・新美化センター建設候補地の情報提供依頼について

2 会議の記録

(1) 説明

・一般廃棄物処理基本計画見直し等委員会の進め方について

【質疑応答・意見等】

委員：委員会は全て対面で行う予定か。オンラインは可能か。

事務局：今のところ全て対面での開催を予定している。

・姫路市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて
・姫路市のごみ処理・リサイクルの現状について
・「資料1 姫路市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」
・「資料2 姫路市のごみ処理の現状について」

【質疑応答・意見等】

委員：リサイクル率にスラグは入っているか。

事務局：スラグも含めてリサイクル率を算定している。

委員：家庭系ごみのプラスチック製容器包装の手選別施設を有しているか。

事務局：エコパークあぼしで障がい者の方による手選別を行っている。

委員長：ごみ処理の現状について、コロナの影響をどのように評価しているか。

事務局：令和2年度に大きな影響があったと考えている。令和2年度の緊急事態宣言時に粗大ごみが多く出た。資源ごみについても、店頭回収や拠点回収出さずに、市の収集にまわり、結果として資源化率が上がったと考えている。令和3年度はコロナ前の排出量に戻ってきているように感じている。

委員：処理費用についてはまとめている資料などはあるか。

事務局：ごみ処理原価を作成している。必要であれば後日、提供することは可能である。

委員：家庭系ごみの分別区分が旧姫路市域と合併された区域で統一されていない。

この先、新美化センター建設に向けて、姫路市全域で統一する方向に進めることはできないか。

事務局：統一されていないことは課題だと認識している。くれさかの粗大ごみ処理施設や収集体制をどうするかも含めて、今後、検討していきたい。

- ・新美化センター整備基本構想の策定について
- ・姫路市新美化センター建設候補地選定の考え方（案）について
- ・「資料3 新美化センター整備基本構想の策定について」
- ・「資料4 姫路市新美化センター建設候補地選定の考え方」

【質疑応答・意見等】

委員長：本委員会の審議は基本構想については、今日は説明のみで審議は次回以降との認識で良いか。

事務局：ご理解の通り。

委員長：基本構想の策定であって、具体的な建設場所を決定するものではないとの認識で良いか。

事務局：ご理解の通り。選考過程について審議いただきたいと考えている。

委員：複数の候補地の中から、この委員にて候補地を決定するようなこともあり得るのではないか。

事務局：候補地について審議するものでなく、市が案として作成した評価項目や評価基準などについて審議いただく予定にしている。候補地の選定については、市が責任を持って行う。

委員：資料によると、新美化センターを核としたまちづくりを行うとされているが、国の補助金活用も想定した大きな範囲でのまちづくり構想か。それとも市の単独事業としてのまちづくり構想か。

事務局：国の補助金活用を予定しており、姫路市単費ですべて実施するものではない。

委員：補助金の活用を予定しており、姫路市単費だけで事業化するものではないことを市民へ周知したほうが良い。

(2) 意見交換

- ・一般廃棄物処理基本計画見直し及び新美化センター整備基本構想に係るアンケートについて
- ・「資料5-1 市民及び事業者アンケート方針」
- ・「資料5-2 市民アンケート（案）」
- ・「資料5-3 事業者アンケート（案）」

【質疑応答・意見等】

委員：市民向けアンケートが盛沢山すぎると思われる。設問数が多すぎると、これを全部答えた人の意見に回答結果が偏ることになる。もう少し設問数を絞ったほうがよい。また、新美化センターに関する設問もあるため、タイトルにも新美化センターを入れたほうが良い。基本的にはプラスチックの資源化や有料化がメインだと思うので、そこを重点的に聞いたほうが良いと思う。

事業者アンケートについては、事業者は業務上、回答を行うため、設問数の問題はない。

事務局：これから設問の絞り込みを行い、次回の委員会で提示したい。

委員：ごみ処理費に関することが一番市民に知ってもらいたい情報である。ごみ袋の大を焼却するのにいくら、資源が混入されている場合はいくら、適正に分別されていけばいくらといったように、どれほどの処理費が必要かなどの情報がイラストなどで分かりやすく、アンケートにあると良い。

事務局：可燃ごみについては、前回のごみ質調査で、約15%の資源ごみが混入していたことが確認できた。この資源ごみが適切に分別されれば、可燃ごみが減り、資源ごみが増え、それにより売却収入が増える。そのような情報も記載できるか検討したい。

委員：分別した場合に処理費が安くなるとは言えず、分別するほど収集費などで費用がかかることになる。そのため、処理費を安くするには、排出量を減らす必要がある。

委員：排出量を減らすことが重要と考える。また、このアンケート調査について、若い世代に対応するため、アンケートはインターネットと紙の両方で回答できるようにした方が良い。また、一石二鳥を狙うならばアンケートに学習・啓発内容を盛り込むと良い。

事務局：学習・啓発内容を含むかについては検討したい。また、インターネット回答については、同一人物が複数回回答できてしまうなど課題がある。良い対処案があれば対応することにした。

委員長：次回、案提出とのことだが、その際に意見を出してスケジュール上、間に合うか。

事務局：大きな構成にかかわる部分の変更は難しいが、文言修正程度ならば可能と考えている。次回開催前までに案を提示したい。意見などがあれば、メールや電話で事務局へ寄せてほしい。

- ・新美化センター建設候補地の情報提供依頼について
- ・「資料6-1 新美化センター建設候補地公募案」
- ・「資料6-2 用地情報提供エントリーシート」

【質疑応答・意見等】

委員：新美化センターが地域の環境に与える影響、例えば収集車による振動や臭気の有無、どの程度の環境汚染が発生するかなどの情報が必要である。また、現状、エコパークあぼしや市川美化センターでどの程度環境に影響を与えているのか示したほうがよい。

事務局：後の作業となるが、生活環境影響調査により新美化センター建設に係る影響を調査し、その結果を地元伝えていくことになる。どちらが先かとの話はあるが、まずは情報提供いただきたいと考えている。また、エコパークあぼしや市川美化センターでは基準値を設定し、毎月の運転状況などをHPに掲載しており、安全に稼働している。

委員：浜辺側、山側など市としての考えはあるか。

事務局：法規制地や災害地は避けたネガティブマップを作成し、そこを避けて候補地を選定している。まずは、市の選定に関する考えが妥当かどうか審議いただきたい。

(3) 閉会

事務局：次回は市役所北側の防災センターが会場になっており、一部リモートも可能と考えている。スクリーンやスピーカーの準備があるため、事前にご相談いただきたい。

以上